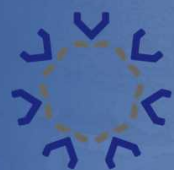


熊本空港特定運営事業等

2022年度 事業計画

熊本国際空港株式会社



KKCIAC



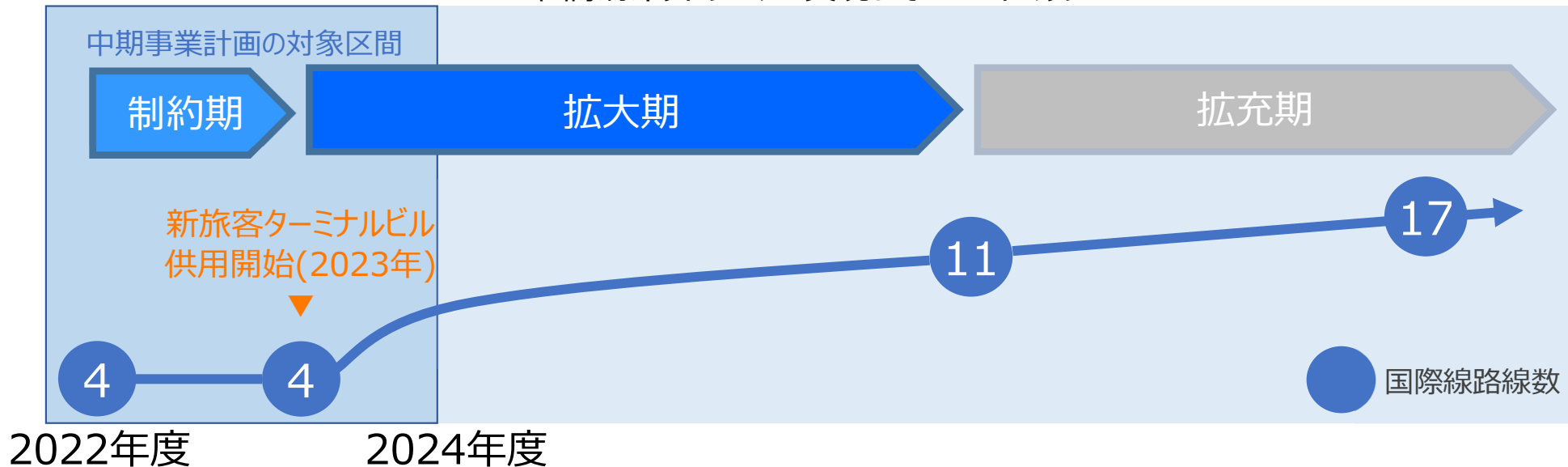
2022年度の方針

当初の事業期間終了時
(2051年度)
におけるビジョン

世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイ
地方空港※No.1の国際線ネットワーク

※羽田、成田、関西国際、福岡、新千歳、那覇、伊丹、中部を除く空港

No1国際線ネットワークの実現までのロードマップ



2022年度の方針

- ・安全・安心を最優先とする、円滑な空港運営業務の実施
- ・新旅客ターミナルビル(新ビル施設)の供用開始へ向けた準備の着実な推進

目標値

国内線
旅客数

263万人

国際線
旅客数

7万人

貨物量

1.4万t

運営権施設の投資総額

12.6億円

◆滑走路・灯火の更新工事 等

非運営権施設の投資総額

42.5億円

◆新ターミナルビル整備 等

基本方針と2022年度の具体的施策

ビジョン実現のための 5つの基本方針

2022年度の具体的施策



世界水準の
空港体験の提供

- 安全・安心を前提とした新ビル施設工事の着実な推進
 - ✓ 2023年春の供用開始に向け、コスト管理、スケジュール管理、品質管理を着実に実施し工事を完了
- 新ビル施設の供用開始へ向けた準備の完了
 - ✓ テナント、免税店等の出店準備を完了



東アジア路線の
戦略的誘致

- 新規路線の就航に向けた取組みの推進
 - ✓ 中国路線就航に向けたロードマップを関係機関と共有し、マーケットに直接訴求するプロモーション（OTAの活用等）を共同で実施



二次交通の
拡大・拡充

- コロナ後を見据えたバス路線の拡大等、空港を起点とした路線誘致の推進



地域との連携強化
による需要創造

- 地域との顔の見える関係構築
 - ✓ 地域と連携したスモールミーティングや各種催事の実施
- 地域企業との連携強化による航空需要喚起



空港全体の
レジリエンスの確保

- 新ビル施設供用開始後の保安体制構築
 - ✓ 供用開始に向け社内外の調整を実施し、必要な保安体制を構築
- 空港基本施設等の適切な維持管理